

1 萩の咲く香りがした
2
3 ○バイノーラル表記一覧
4 向き：中央、右、左
5 距離：遠、中、近
6
7 ◆トラック 1 「最後の授業」
8
9 ＊ 4 年前。館の玄関（夕）。主人公が訪ねると、ドアの向こうからハギの声
10
11 S E：ドアベル
12
13 【中央・遠】
14 はい！
15
16 S E：ハギ、玄関へ駆け寄ってドアを開ける
17
18 【中央・中】
19 おかえりなさいませ！
20 ……じゃなかったっ
21
22 お待ちしておりました
23 こんにちは、お兄ちゃん
24 本日もよろしくお願いします
25
26 主人公「服、少し変わった？」
27
28 よく気づかれましたね
29 そうなんです
30 メイド服、ちょっとだけデザインが変わったんですよ
31 どうですか？
32
33 S E：その場でぐるりと回転
34
35 主人公「似合ってるよ」
36

1 ふふ、ありがとうございます
2 では早速、お部屋に行きましょうか
3
4 S E：歩く二人の足音
5
6 *ハギ、主人公の隣を歩いている
7
8 【やや右・中】
9 ふっふっふー
10 見てください、ハギのこの晴れ晴れとした顔！
11 なんと！ わたしはすでに……学校の宿題を済ませてしまったんです！
12
13 主人公「凄いじゃん！」
14
15 えへへ～、ありがとうございます
16 学校の休み時間にちまちまやっていたら、いつの間にか終わっていました
17 お兄ちゃんのお仕事、一つ減っちゃいましたね
18
19 主人公「ハギは優秀だね」
20
21 はいっ、ハギは優秀なんですよ
22 これもお兄ちゃんのおかげですけど
23 前は宿題に何時間もかかっていたから
24 メイドとしてのお仕事もありますし、大変でした
25
26 でもお兄ちゃんが来てくれるようになってからは、すぐに終わるので……
27 本当に助かっています
28 キキョウお姉様が「家庭教師をつける」って仰ったときは、びっくりしましたがけど……
29 わかりやすく教えてくださるから、少しはお勉強が嫌じゃなくなりました
30
31 *ハギの部屋の前に到着
32
33 さあ、どうぞ
34
35 S E：ハギ、ドアを開ける。中に入る二人
36

1 **【中央・中】**
2 今日は何をしましょうか？
3 宿題は終わっていますし……あっ
4 今度数学の小テストがあるので、その範囲のお勉強がしたいです
5 お願いしてもよろしいですか？
6
7 主人公「ああ……」
8
9 **【中央・中→やや左・中】**
10 では、紅茶を持ってきますのでお待ちください
11
12 S E：主人公、ハギの腕を掴む
13
14 **【やや左・中】**
15 えっ？
16 ……どうかなさいました？
17
18 あ、もしかして、もうお腹空いちゃったんですか？
19 今日のおやつはディアマンクッキーですよ
20 キキョウお姉様が焼いてくださったんです
21 まだ早いですが、召し上がりますか？
22
23 主人公「ハギ、話があるんだ」
24
25 **【中央・中】**
26 お話？ 何でしょう？
27
28 主人公「実は、教員試験に受かったんだ」
29
30 えっ、受かったんですか！ 高校の教員試験！
31 じゃあ、お兄ちゃんは先生になるんですね！
32 凄いです、おめでとうございます！
33
34 ずっと仰っていましたもんね
35 「数学の先生になりたい」って
36 お兄ちゃんは教えるのがお上手ですから、きっと素敵な先生になります

1 ハギが保証しますよ！
2
3 ……どうしたんですか？
4 嬉しいご報告なのに、浮かない顔ですね
5
6 主人公「……もうすぐ卒業だから、今日でこのバイトも終わりだ」
7
8 ……え？
9 今日で、おしまい……？
10 お兄ちゃん、明日からもう来てくださらないんですか？
11
12 そっか……もうすぐ卒業ですもんね
13 お兄ちゃんもお勉強しないといけないでしょうし、いつまでもここに来るわけには……
14
15 ……わかりました！
16 寂しいですけど、お兄ちゃんの夢が叶うんです
17 ハギは全力で応援しますよ！
18
19 主人公「……いいの？」
20
21 はい、当然じゃないですか！
22 お兄ちゃんにはこれまで、たくさんお世話になってきましたから
23 おかげでテストの点数も上がりました
24 だから……これからは、一人で頑張ってみます
25
26 お兄ちゃんのこと、忘れませんからね？
27 会えなくなっても、この館からエールを送りますから！
28
29 ですけど……いいなあ、お兄ちゃんに授業してもらえる生徒さんは
30 高校の数学ってすごく難しいイメージですけど、
31 お兄ちゃんに教わったら、得意科目になる方が多そうです
32
33 主人公「そうだといいんだけど……」
34
35 あら、自信ないんですか？
36 大丈夫ですよ、お兄ちゃんなら

1
2 【中央・近】

3 ……もうっ、そんな顔なさってたら、生徒さんたちも不安になってしまいますよ？
4 では……お兄ちゃんが自信を持てるように、ひとまずハギのお勉強に付き合ってください
5 最後の日ですから、いつも以上に頼っちゃいますねっ

6
7
8 *勉強中

9
10 S E : シャーペンをノートに走らせている

11
12 【やや左・近】

13 んーと、この式はこう、で……
14 はあ、なんで点Pって動くんでしょう
15 意思があるんですかね？

16
17 主人公「そういうものなんだよ」

18
19 そういうもの、ですか
20 点は動くし、太郎さんと次郎くんは別々の時間におうちを出発するし、
21 数学の世界は謎だらけですね……

22
23 主人公「ここ、ちょっと間違ってる」

24
25 あっ、ほんとだ……えっと、ここをこうして、っと
26 これで合っていますか……？

27
28 主人公「うん、正解。よくできたね」

29
30 えへへ、ありがとうございます
31 やっぱお兄ちゃんに褒められると、やる気が出てきますね！

32
33 では、次の問題は……うーん、また文章問題です
34 ながーく書かれてると、つい身構えちゃうんですね……

35
36 主人公「けど、解けるでしょ？」

1
2 ええ、まあ
3 解けることには解けるんですが……どうしても時間がかかってしまうので
4 これはわたしの課題ですね
5
6 だ、大丈夫です
7 お兄ちゃんがいなくても、できるようになってみせますから！
8
9 あ、でも……
10 本当に困ったら、お兄ちゃんに連絡しても……
11
12 いえ！ いけませんよね
13 もう家庭教師じゃなくなるのに、頼ったら困らせてしまいます
14
15 主人公「俺は別にいいけど……」
16
17 いいえ、だめです
18 お兄ちゃんにはお兄ちゃんの生活があるんですから
19 わたしも自分のことは頑張らないと！
20
21 *主人公、ハギを見つめる
22
23 ……お兄ちゃん？
24 心配してくださっているんですか？
25 嬉しいです、最後までわたしのことを考えてくださるんですね
26 お兄ちゃんが家庭教師で、本当に良かった……
27
28 このお部屋で一緒にお勉強したこと、忘れないです
29 お兄ちゃんも、覚えていてくださいますか？
30
31 主人公「もちろん」
32
33 ありがとうございます
34 ……あはは、少ししんみりしちゃいましたね
35
36 S E：ハギ、椅子から立ち上がる

1
2 **【やや左・中】**
3 （立ち上がる息遣い）っ……
4 おやつタイムにしましょうか
5 気分転換ということで
6
7 ……あれ？
8 お兄ちゃん、こちらを向いていただけますか？
9
10 S E：主人公、ハギのほうを向く
11
12 **【中央・中】**
13 そのままじっとしててください……
14
15 S E：ハギ、主人公の髪についている葉っぱを取る
16
17 **【中央・近】**
18 髪に葉っぱ、ついていましたよ
19 館に来られるときに、ちょうど落ちてきてしまったんでしょうか
20 気が付きませんでした
21
22 この葉っぱ、葉にしちゃおうかな
23 綺麗な緑色ですから、本に挟んだら爽やかな気持ちで読書ができそうです
24 それに、お兄ちゃんのことを思い出せるでしょうし……
25
26 主人公「ハギは俺に凄く懐いてくれたね」
27
28 はいっ、お兄ちゃんへの懐き度はマックスですから！
29 お兄ちゃんこそ、最初は緊張されていましたが、少しずつ打ち解けてくれましたよね
30 天気とお勉強のお話だけだったのが、ゲームや漫画のことにまで広がって……
31 男の人とそういうお話をしたの、実は初めてだったんです
32
33 主人公「そうなの？」
34
35 はい
36 ちなみにハギのお部屋に入った男の人も、お兄ちゃんだけなんですよ？

1
2 *主人公、少し恥ずかしそうに俯く
3
4 【中央・近→右・近】
5 ん……大丈夫ですか？
6
7 【右・近】
8 ひょっとして……お兄ちゃん、照れていらっしゃる？
9
10 主人公「ち、違うよ」
11
12 【右・近→中央・中】
13 ぷっ……あははっ
14
15 【中央・中】
16 そうですね、そういうのじゃないですね
17 だってお兄ちゃんですし
18
19 お菓子と新しいお茶をお持ちしますね
20 少々お待ちを
21
22 紅茶をお出しするのも、今日で最後ですか……
23 とびきり美味しくなるように、心を込めてお淹れしますね
24
25 ……お兄ちゃん
26 本当に、ありがとうございました
27 もしまたお会いできたら、そのときは……
28 料理の腕を上げたハギのクッキー、召し上がってくださいね
29

◆トラック 2 「4 年分の積もる話」

* 4 年後（現在）。高校の廊下

SE：廊下を歩く主人公、しばらくして向こうからハギの足音

【中央・遠】

はっ、はあ、はあ、はあっ

*ハギ、教師（主人公だと気づいていない）を目にして立ち止まる

【中央・遠→中】

あっ、おはようございます！

廊下走ってすみませんっ

始業式なのに寝坊してしまって、それで……

【中央・中】

（主人公だと気づく）……あれ？

お兄……ちゃん？

お兄ちゃん、ですね？

主人公「……誰？」

わたしですよ！ ハギです！

4 年前に、館で数学を教わった……

主人公「ハギ！？ びっくりした！ この学校だったんだね」

思い出してくださったんですね！

はい、この高校に通っているんです

もう 3 年生になったんですよ

……初日から遅刻寸前ですけど

ここにいらっしゃるってことは、お兄ちゃん、もしかして……

今年からこの学校の先生に！？

1 *主人公、頷く
2
3 わあっ、そうなんですね！
4 事前に教えてくだされば……って、連絡を取るのはお誕生日とお正月くらいでしたね
5 では、本当に偶然？
6
7 主人公「そうだね」
8
9 でしたらますます嬉しいです
10 あっ、クラスは受け持つんですか？
11
12 主人公「3年1組の担任になるよ」
13
14 3年1組って……うちのクラスじゃないですか！
15 つまり、お兄ちゃんが担任の先生！？
16 で、ですけど、クラスがわかってたなら名簿で事前に気づかれたんじゃない？
17
18 主人公「忙しくてじっくり見てなくて……」
19
20 ああ、ですよ
21 赴任の準備で忙しかったでしょうし、じっくり確認する時間もないですよ
22
23 でも、まさかお兄ちゃんが担任の先生だなんて……びっくりです
24 高校生活最後の1年、とてもわくわくしてきました
25 お兄ちゃんがいたら、高3の数学もばっちりですね！
26
27 主人公「ハギ」
28
29 はい、何でしょう？
30
31 主人公「学校だから、さすがに『お兄ちゃん』っていうのは……」
32
33 あっ、そうですよね！
34 さすがにお兄ちゃん呼びはダメですよ、学校ですし
35
36 こほん

1
2 **【中央・近】**
3 えっと……せ……先生
4
5 ……あははっ、ちょっと変な感じです
6
7 でも、もう「お兄ちゃん」って呼べなくなっちゃうんだ……
8 仕方がないこととはいえ、寂しいです
9 また会えたのに、凄く離れた存在みたいで……
10
11 主人公「じゃあ、二人だけのときならいいよ」
12
13 えっ、二人きりのときならいい……んですか？
14 ほ、本当ですか！？
15
16 主人公「ああ、でも普段は先生って呼ぶようにね」
17
18 はい！
19 みんながいるところでは、ちゃんと「先生」って言いますっ！
20 えへへ、やったあ
21 先生のこと、いっぱい独り占めしないとですね
22
23 S E：予鈴
24
25 **【中央・中】**
26 あっ、いけない！　ホームルーム始まっちゃいます！
27 先生、行きましょう！
28
29
30 ＊ 2 時間目後の休み時間、校舎裏
31
32 S E：ハギがやってくる足音
33
34 **【中央・中】**
35 先生、お待たせしました！
36 あっ、ここではもう「お兄ちゃん」って呼んでいいんですよね？

1 うふふ、お兄ちゃんっ
2
3 あと15分で教室に戻らないといけませんが……ここなら誰も来ないので、
4 ゆっくり話せますよ
5 あ、でもたまにこっそりいちゃいちゃしに来るカップルがいるので、
6 そこは気を付けないとですけど……
7
8 校舎裏って木に隠れて日陰になっていますし、逢引するのに丁度いいんでしょうか？
9 わたしたちも誰かに見られたら、いけない関係だと勘違いされちゃうかもしれませんね
10
11 それにしても……本当にお久しぶりです
12 もう4年も経ったんですね
13 最後にお会いしたときは、わたし中学生だったのに……もう高3ですよ
14
15 はじめ、ハギだって気づきませんでしたよね？
16 そんなに変わりましたか？
17 身長はほとんど伸びていないんですが……
18
19 主人公「雰囲気落ち着いた感じがする」
20
21 雰囲気ですか？ 落ち着いたように見えます？
22 ふふ、ありがとうございます
23
24 メイドとしても、少しは成長したんですよ？
25 調度品だらけのお部屋も、お掃除させてもらえるようになったんです、えへんっ
26 昔は壺に触ると叱られていたので、任せていただけて凄く嬉しいんです
27
28 お兄ちゃんはどうですか？
29 学校の先生になられて
30
31 主人公「大変だけど充実してる」
32
33 先生ってお忙しいそうですもんね
34 でも、お兄ちゃんの夢、叶って良かった
35 お顔が晴れやかです
36

1 明日は数学ありましたよね？
2 今日は早めに寝て、一番乗りで教室に来ます！
3
4 主人公「そんなにはりきらなくても」
5
6 はりきりますよ！
7 だって、お兄ちゃんの授業が受けられるんですよ？
8 去年までの数学は平均点くらいでしたけど、今年は上位を目指します！
9 ですので授業が終わった後に質問しに伺うかもしれませんが……よろしいですか？
10
11 主人公「ああ、もちろん歓迎するよ」
12
13 ふふっ、自慢の教え子になれるよう頑張りますね！
14
15 あっ、他のみんなにはわたしたちのことは伏せておいたほうがいいですよ？
16 万が一変な噂が立ったら、お兄ちゃんも困ってしまうでしょうし
17
18 館の人達に劣らず、クラスの女子はみんな恋バナが好きなんです
19 事実かそうじゃないかは問わず、誰と誰が付き合っているって噂は常に聞くくらいで
20 でもその噂がきっかけで、本当にカップルになった人たちもいるんですよ
21 今ではわたしの周りもカップルだらけです
22
23 主人公「ハギは？」
24
25 わたしですか？
26 わたしは……まだお付き合いしたことはなくて
27 たまに男の子から告白していただけるんですが、恋愛感情というのがどういうものか、
28 よくわからないんです
29
30 主人公「告白されたの！？」
31
32 え？ ええ、これまで5人くらいでしょうか
33 ハギなんかのことを好きになってくれただなんて、光栄です
34 わたしは同じ気持ちじゃなかったの、お断りしてしまいましたが……
35 いつかしてみたいですね、恋
36

1 お兄ちゃんは、お付き合いされている方はいらっしゃるんですか？
2
3 主人公「まぁ……忙しくてね……」
4
5 ふふ、それどころじゃないですよ
6 ハギももし誰かとお付き合いしても、館のお仕事を優先してしまうかもしれません
7 期待してくださるご主人様のお気持ちに応えたいですから
8
9 主人公「お互い大変だな」
10
11 ええ、お互いお疲れ様です
12
13 あっ、そろそろ戻らないと
14 休み時間にありがとうございました
15 またお喋りしましょうね、お兄ちゃん
16 これからまた、よろしくお願いします
17

◆トラック 3 「芽生える恋」

* 1 か月後。休み時間、職員室。女性教師と会話中の主人公

S E : ドアが開く

【右・遠】

失礼します

S E : 主人公に近づくハギの足音、去っていく女性教師の足音

【やや右・中】

……お話し中でしたか？ すみません

数学でいくつかわからない問題があつて……教えていただけないでしょうか？

主人公「放課後なら空いてるよ」

放課後ですね

教室で大丈夫ですか？

主人公「ああ」

ありがとうございます

ところで、音楽の先生と話されていましたが……

凄く盛り上がっていらっしゃいましたね

【やや右・近】

(小声) ひょっとしてお兄ちゃん、ああいう方がお好きなんですか？

主人公「こら、大人をからかうなよ。互いのクラスの話してただけ」

【やや右・中】

ああ、あの方、6 組の先生ですもんね

もうすぐ中間テストですし、そのご相談ですか？

ですけど、おにい……先生ったら、にやにやされてましたよ？

1 主人公「そんなことないって」
2
3 ふーん……では、そういうことにしておきましょう
4 これ以上お時間をとるわけにはいきませんし、わたしは失礼しますね
5 放課後、よろしくお願いしますっ
6
7
8 *放課後、教室。一つの机を挟むようにして向かい合って座っている二人
9
10 S E：ノートにシャーペンを走らせる
11
12 【中央・中】
13 えっと、これが……うーん
14 あっ、そうか
15 じゃあ、この関数における曲線は……こういうことですね！
16
17 主人公「合ってる合ってる」
18
19 ここまで複雑だと、解けてもあまり実感が湧きませんね
20 でも良かったです
21 わからないままじゃテストが心配ですし
22
23 お兄ちゃんはやっぱり、説明がお上手ですね
24 普段の授業もですけど、一つずつ省略せずに教えてくださるので、
25 頭の中がぐちゃぐちゃにならないんです
26
27 これは市販の問題集なんですけど、解説を読んでもいまいち理解できなかったもので……
28 ありがとうございます、お兄ちゃん
29
30 主人公「けど、数学苦手だったハギが理系を選択したなんてね」
31
32 え？ ええ
33 本当は文系に進もうと思っていたんです
34 でもお兄ちゃんに教えてもらった数学を、もうちょっとやってみたいなって思って
35 それで理系にしました
36

1 そうしたら最後の1年で、お兄ちゃんがまた先生になってくださったんですもの
2 こうして二人だけで補習していると、あの頃に戻ったみたいです

3
4 懐かしいですね
5 今でも鮮明に覚えています
6 お兄ちゃんが初めて館にいらした日、
7 緊張されていてお勉強どころじゃありませんでしたよね

8
9 主人公「館とかメイドさんとか、初めて見るものが多かったから驚いて……」

10
11 ふふ、あの館は大きいですからね
12 わたしもメイド服でしたし……あまり見慣れない光景だったかもしれません

13
14 あっ
15 わたしがテストを終えたあとは、
16 ケーキやドーナツなんかを買ってきてくださいましたよね
17 あのご褒美、とても嬉しかったんですよ

18
19 主人公「館の人たちが作ったやつのほうが美味しいけどね」

20
21 うちのスイーツも美味しいですが、
22 お兄ちゃんがわたしのために選んで買ってくださいったから、より美味しかったです
23
24 ……そういえば

25
26 S E : ハギ、鞆から本を取り出して開く

27
28 *本に葉の葉が挟まっている

29
30 これ
31 あのときの葉っぱです、覚えていらっしゃるでしょうか？
32 お兄ちゃんの髪についていた……

33
34 主人公「最後の授業のときの？」

35
36 そうです！ 最後の授業のときの

1 言ったとおり、栞にして今でも持ち歩いているんですよ
2 ハギのお守りです
3
4 テストの前にこれを見ると、お兄ちゃんを思い出してリラックスできるんです
5 高校受験も、おかげで落ち着いて臨めました
6 お兄ちゃんと過ごした日々は、ずっとわたしの支えだったんですよ
7
8 今年もお兄ちゃんがいるから、素敵な一年になるに違いありません
9 もちろん、やらなきゃいけないことはちゃんとやりますけど
10 進路の問題もありますし……
11
12 主人公「まだ決まってないんだもんね」
13
14 はい、まだ決められなくて
15 卒業後も館でメイドとして働くか、あるいは進学っていう感じでしょうけど
16 ハギの家は代々ご主人様のおうちに仕えてきたので、
17 それ以外の生き方があまり想像がつかないといいますか……
18 ですが、ご主人様は「ハギの進みたい道に進むといい」と仰ってくださって
19
20 主人公「ハギはどうしたいの？」
21
22 わたしは……自分がどうしたいのか、まだわからないんです
23 今から勉強して受験に間に合うかどうか微妙ですし……
24
25 主人公「頭はいいから大丈夫だよ」
26
27 ほ、本当ですか？
28 「頭がいい」だなんて褒められたら、調子に乗っちゃいますよ？
29
30 ……お兄ちゃんは、学校の先生になるって決断されたのは、だいぶ前だったんですよね？
31 ちゃんと将来のことを考えていらして、偉かったんですね
32
33 って、すみません
34 先生に向かって「偉い」だなんて
35
36 主人公「十年後の自分にどうあってほしいか考えてみたら？」

1
2 十年後の自分、ですか？
3 どうあってほしいか……うーん
4 すぐには思いつかないですけど、考えてみます
5 もう悩める時間もあまりありませんしね
6
7 よしっ
8 ひとまず今は目の前のことに集中します！
9 次の問題は、と……
10
11 S E：ノートにシャーペンを走らせる
12
13 *静かになった教室で、少しうとうとする主人公
14
15 【中央・近】
16 (小声) ……おーい、お兄ちゃん？ 大丈夫ですか？
17 すぐにでも寝ちゃいそうな様子でしたけど……
18
19 主人公「ごめんごめん、ただの寝不足だよ」
20
21 【中央・中】
22 寝不足？
23 そうでしたか……テスト前だから特に忙しいですね
24 こんなときに補習をお願いしてしまって、すみません……
25
26 主人公「気にしないで、生徒なんだから」
27
28 ありがとうございます
29 でも！
30 せめて付き合っていたいただいたお礼をしたいです
31
32 お兄ちゃん
33 少しここで……眠っていかれませんか？
34 机の上に伏せるような体勢なら、お昼寝にぴったりですよ
35 もう夕方ですけど……
36 下校時刻になったら、わたしが起こしてさしあげますから

1
2 主人公「だ、大丈夫だよ」
3
4 いいえ、大丈夫じゃありません
5 お兄ちゃんはすぐに無理されるから、おうちではちゃんと眠らないでしょう？
6 ハギにはお見通しですよ
7
8 主人公「……じゃあ、少しだけ」
9
10 はいっ
11 では、これしまっちゃいますね
12
13 S E：問題集とノートを鞆にしまうハギ
14
15 お待たせしました
16 どうぞ
17
18 S E：机に顔を伏せる主人公
19
20 主人公「……いざ寝ようとする、難しいね」
21
22 あ……このままだと寝づらいですね
23 わたしの目は気にしないでいただきたいですが……それも難しいでしょうし
24 でしたら、眠りに就きやすくなるように、頭を撫でてでもよろしいですか？
25
26 主人公「えっ！？」
27
28 ご主人様のご親戚のお子様たちを寝かしつけるのに、よくやっているんです
29 皆さん5分くらいで寝られるんですよ
30
31 主人公「そういう問題じゃなくて……一応教師と生徒なわけだし」
32
33 むう
34 先生と生徒だからって、なでなでしちゃだめってことにはならないと思います
35 お兄ちゃんは、わたしの大切な人ですから
36

1 それに……この席は廊下から見えません
2 誰かが教室に入ってきて、すぐに頭から手を離せばいいだけです
3 だから……いいですよね？
4
5 主人公「押しが強いなあ……わかった」
6
7 ふふっ、ハギは押しが強いんですよ
8 では……撫でやすいように、隣に移動しますね
9
10 S E：ハギ、立ち上がって椅子を主人公の右に移動させる
11
12 【やや右・中】
13 失礼します
14
15 S E：ハギ、椅子に座る
16
17 主人公「隣に座ってたらさすがに怪しまれない……？」
18
19 隣に座っていても、「そのほうが教えやすいから」と言えば問題ありません
20 さあ、顔を伏せてください、お兄ちゃん
21
22 S E：主人公、机に顔を伏せる
23
24 【右・近】
25 では、なでなでさせていただきますね
26
27 S E：頭を撫でる音（継続）
28
29 ＊以下、囁き
30
31 んー……ふふ
32 なで、なで
33 なでなで
34 よしよし……よしよし
35 リラックス、なさってくださいね
36 力を抜いて……

1
2 なでなで、なでなで
3 よしよし、よしよし
4
5 お兄ちゃんのつむじ……
6 お話しするときいつも見上げているので、久々に拝見しました
7
8 主人公「こんなの見ても面白くないよ？」
9
10 面白いかどうかというより、普段見られない部分を見られて嬉しいんです
11 きっと足の裏でも感激すると思います
12
13 主人公「……変わったフェチだね」
14
15 （苦笑して）フェチというわけでは……
16 お兄ちゃんのことを知りたいだけです
17 誰にでもこうっていうわけじゃないです
18
19 わたし、あの頃からお兄ちゃんを本当に尊敬してるんです
20 優しくて、頭が良くて、面白くて……
21 だから教えてください
22 まだわたしが知らないお兄ちゃんを
23
24 あ、それからハギのことも知ってほしいです
25 4年前は、学校にいるハギをご覧になっていませんでしたよね
26 どうですか？ 制服姿は
27
28 主人公「似合ってるよ」
29
30 ふふ、ありがとうございます
31 メイド服と違って丈が短いので、最初は恥ずかしかったですが……
32 こういう格好も、動きやすくて楽しいです
33
34 ただ、脚を出しているなので、冬は大変ですね
35 タイツを履いても寒いので……登下校中もカイロが欠かせません
36 ですが、それも制服の醍醐味です

1 マフラーやコートでオシャレもできますし
2
3 お兄ちゃんは、メイドのわたしと学生のわたし、どちらがお好きですか？
4
5 主人公「どっちもハギだからなあ」
6
7 そうですね、どちらもわたしですが……ふふっ
8 どんなわたしでも、「ハギ」として見てくださるってことですね
9 お兄ちゃん、そういうところ全然変わっていないです
10
11 主人公「ハギもあまり変わってないよ」
12
13 わたしも……そうですね、そんなに変わっていないかもしれません
14 ですが、わたしの場合、変化というか成長が必要かもです
15
16 進路のこともそうですけど、優柔不断で
17 もっと大人にならないとですね
18 来年の春には卒業するんですから
19 でも、お兄ちゃんがずっと数学を教えてくださいな……
20 いっそのまま学校に残りたいです
21
22 ……なんて、さすがに冗談ですよ
23 ちゃんと卒業します
24 卒業式って、担任の先生に名前を呼ばれて登壇するんです
25 最後の日にお兄ちゃんから「ハギ」って呼んでいただけるの、今から楽しみにしていますね
26
27 主人公「随分先のことだね」
28
29 あはは、まだ先ですね
30 でも、3年生になってこんなに素敵な日々を送れているのは、お兄ちゃんのおかげなんです
31 クラスのみんなも、よく言っています
32 お兄ちゃんが担任だから、受験や就活に前向きになれるって
33 お兄ちゃんは、みんなに信頼されているんですよ
34
35 主人公「嬉しいな」
36

1 自分のお仕事が周りから認められると、「頑張ってきて良かった」って思えますよね
2 わたしも同じです
3 花壇の水やりとかお買い物のお手伝いしかできなかったのが、
4 今ではより責任のあるお役目をいただけて……
5 ご主人様がお褒めの言葉をかけてくださった日の夜には、いい夢を見られるんです
6
7 わたしね、誰かに何かをしてあげるのが、好きなんです
8 だから、メイドのお仕事も好きですし
9 こうしてお兄ちゃんをなでなでしていても、満ち足りた気持ちになります
10
11 ん……（あくび）ふああ
12 あ、すみません
13 なんだかわたしも……ん、眠くなってきました
14
15 大丈夫ですよ
16 ちゃんと起きていますから……ふああ
17 （途切れ途切れに）お兄ちゃんはどうぞ、安心してお眠りに……なって……
18
19 ん……すう
20 すう、すう
21 すう、すう……
22
23 *囁きここまで
24
25
26 *10分後。チャイムで起きる二人
27
28 S E：下校チャイム
29
30 【右・近】
31 ん、んん……？
32 この音は、下校時刻の……
33
34 S E：顔を上げるハギ
35
36 あっ、いけない！

1 お、お兄ちゃん、お兄ちゃんっ
2 起きてくださいっ
3
4 S E：顔を上げる主人公
5
6 【右・中】
7 も、申し訳ありません！
8 わたしとしたことが、つい眠ってしまって……！
9 もう帰らないといけない時間みたいです
10
11 起こされていないってことは、誰かに見られたわけではないんでしょうけど……
12 ごめんなさい
13
14 主人公「大丈夫だよ。おかげですっきりしたし」
15
16 すっきりできました？
17 （ほっとして）……それは良かったです
18
19
20 【右・中→やや右・近】
21 ん？
22 お兄ちゃん、ほっぺたのそれ……
23
24 【やや右・近】
25 あっ、服の跡がついています
26 袖の皺でしょうか？
27
28 ……ふっ、ふふふっ
29 あははっ……す、すみません
30 なんだか面白くて
31 だってお兄ちゃんの顔……あはははっ
32
33 ふふ……
34 こんなに笑ったの、久々かもしれません
35
36 主人公「恥ずかしくなってきた……」

1
2 あっ、手でお顔隠さないでください
3 せっかくお兄ちゃんの可愛い一面が見られたのに
4
5 （主人公の手を見て）ん……
6 お兄ちゃんって、そんなに手、大きかったんですね
7
8 主人公「手？」
9
10 はい
11 前は意識してなかったんですが……ハギの手と合わせてみましょう
12
13 SE：ハギ、主人公の手に自身の手を合わせる
14
15 ね？ 全然違います
16 お兄ちゃんの手に食べられちゃいそうです、ふふ
17 やっぱお兄ちゃんは……大人なんですね
18
19 主人公「前から大人だよ」
20
21 ええ、家庭教師だったときから大人でしたが……
22 あ、以前と変わったところもありますよ
23 例えば……お髭が伸びてます
24
25 主人公「それは忙しくて、手入れが小まめにできてなくて……」
26
27 お手入れ、毎日大変ですよ
28 でしたら、わたしがいたしましょうか？
29 お髭を剃るだけでなく、保湿も徹底します
30
31 主人公「さすがに遠慮しておくよ」
32
33 そうですか、残念です……
34 お手伝いが必要なときは、いつでもお声をかけてください
35 ハギにお任せを！
36

1 ですが……少し寂しいですね
2 なんだか、前より年の差が開いちゃったみたい
3
4 主人公「ハギだって大人っぽくなったよ」
5
6 わたしも大人っぽくなりました？
7 そ、そうですか
8 ですが、まだまだです
9 身長も止まって、その……胸も小さいままで
10
11 わたしの周りの方々が大きいだけなのかもしれないですけど、
12 あのサイズを見て育ってしまったので、自分のがより平らに見えてしまいます……
13 これではいつか付き合う殿方に、ご満足いただけないかもしれません
14
15 主人公「ハギは面倒見がいいし、未来の旦那さんは幸せだと思うぞ」
16
17 （驚きと喜び）っ……
18 面倒見がいいというのはよく言っていますが、
19 未来の旦那様が幸せというのは……ふふ
20 落ち込んでいたのに、一気に嬉しくなっちゃいました
21 わたしってば単純ですね
22
23 いつかわたしも、結婚するんでしょうか？
24 未来の旦那様、かあ……
25
26 *ハギ、主人公のことが自然と思い浮かんで顔を赤らめる
27
28 えっ、あっ……
29 （独り言）や、やだ、どうしてお兄ちゃんの顔が浮かんで……
30
31 主人公「どうした？」
32
33 【やや右・中】
34 い、いえ！ 何でもありません！
35 はっ、そういえばもう下校時間過ぎているんです！
36 わたし、これで失礼します！

1

2 お兄ちゃん、また明日！

3

4 S E：立ち上がって急いで教室を出て行くハギ

5

◆トラック 4 「焦ってくれたっていいのに」

*前トラックの終わりで主人公に対して恋心が芽生え始めているので、意識するゆえハギが少しよそよそしくなっています

*数週間後、放課後の教室。二人で補習中、つい主人公を見つめてしまうハギ

SE：ハギ、ノートに書きこんでいるがすぐに止まる

【中央・中】

ん……

主人公「手、止まってるよ」

あっ、すみません

問題やらないと……

テスト終わったのに、度々ありがとうございます

いつもよりいい点とれましたし、また補習もしていただいて……

主人公「ハギ。今、俺のこと見てた？」

えっ？

い、いえ、お兄ちゃんを見ていたわけじゃありません

(誤魔化す) えっと……窓ガラスの汚れが気になって！

お掃除したいなあ、なんて考えてました！

主人公「俺も一緒に掃除しようか」

いえいえっ、わたし一人でできますから

お兄ちゃんはお忙しいでしょう？

それにわたし、お掃除は得意ですから

主人公「でも……」

大丈夫ですよ！

ハギにお任せください

1 そ、それで、この計算は……
2 んーと、ええと、ん……うう
3
4 主人公「今日は集中できてないね」
5
6 ……はい、集中できていないみたいです
7 ごめんなさい、お時間とっていただいてるのに
8
9 主人公「そんな日もあるよ。今日はやめにしておく？」
10
11 え、あ……そうですね
12 今日は帰ろうと思います……ありがとうございました
13
14 SE：ハギ、教科書を鞆にしまいながら
15
16 *ハギ、明るくしようと努める
17
18 ……そういえばっ、もうすぐ体育祭ですね
19 わたし、借り物競争とリレーに出るんですよ
20 って……決めるときにお兄ちゃんもいたからわかりますよね、あはは
21
22 昨日から練習が始まったんです
23 体を動かすと気持ちいいですよ
24 もやもやしている頭もすっきりしますし
25
26 主人公「何か悩んでることでもあるのか？」
27
28 あっ、いいえ
29 特に悩みがあるわけでは……ないです
30
31 とにかく、このクラスが優勝できるように頑張ります！
32 ただ、リレーはとにかく借り物競争は……どんな感じなんでしょう？
33 やったことがなくて
34 カードに書かれているものを見つけてくるんですよ？
35 もしくは人を連れてくるとか
36

1 どんなお題が出されるか、運にかかってますね
2 どうか簡単なものでありますように！
3 お兄ちゃんも祈っててください
4
5
6 *数日後、放課後。保健室
7 *怪我をして少し落ち込んでいるところに主人公が現れたため、
8 嬉しさゆえに主人公に対する距離感が戻ってきています
9
10 S E：主人公、ドアを開けて中に入り、ハギに近づいていく
11
12 *ベッドに腰掛けているハギ
13
14 【中央・遠→中央・中】主人公が近づくのに合わせるイメージ
15 あっ、お兄ちゃん！
16 もう帰りのホームルーム終わったんですか？
17 保健の先生はさっき職員室に行かれましたが……
18
19 主人公「怪我、大丈夫か？」
20
21 【中央・中】
22 心配して来てくださったんですね
23 大丈夫ですよ、大した怪我じゃありません
24 ちょっとリレーの練習中に転んじやったんです
25 それで脚をすりむいて……
26 ひねったわけじゃないので、明日には練習に戻ります！
27
28 主人公「無理するなよ？」
29
30 はいっ
31 無理しない程度に頑張ります
32
33 わたし、そろそろ帰りますね
34 館のお仕事もありますので
35
36 主人公「車で送るよ」

1
2 (動揺) えっ！？
3 お、送るって……お兄ちゃんの車でですか？
4 大袈裟ですよ、ただのすり傷なのに……！
5 ほらっ、脚ぶんぶんしても平気ですし……あいたっ
6
7 主人公「大丈夫か！？」
8
9 え、えへへ
10 今日のところは安静にしておきます
11
12 S E：主人公、ハギに近づいてしゃがみ込む
13
14 【中央・近】
15 ……お兄ちゃん？
16 どうかなさいま……
17
18 *主人公、ハギの脚に触れる
19
20 ひあっ！
21 えっ、あ、あのっ、お兄ちゃんっ
22 脚、どうして触って……だ、大丈夫ですよ！
23 少しズキっとしただけですから！
24
25 (恥じらう) う、うう～
26 ふくらはぎ、あんまり撫で ないでください……
27
28 主人公「傷口が広がってないか確認してるだけだ」
29
30 こんなことで傷口は広がりませんっ
31 か、確認していただけるのはありがたいですが、
32 怪我の状態はちゃんと、保健の先生に診ていただきましたから
33 ですからあ……(脚を撫でられる) んっ、はあ……あっ
34
35 も、もう……手、離していただけると……
36

1 主人公「ごめん、痛かった？」
2
3 い、いえ、痛いわけじゃなくて……
4 （拗ねる）むー……鈍感なんですから
5
6 *手を放す主人公
7
8 【中央・中】
9 （ほっとして）ふう……
10 ひとまず、わたしはこれで失礼します
11 お兄ちゃん、また（「今度補習とか」と言いかける）……
12
13 S E：主人公、ハギの鞆を手にとって歩き出す
14
15 【やや左・中】
16 えっ、あの、わたしの鞆……！
17
18 主人公「駐車場行くぞ」
19
20 も、もう……わかりました
21 お兄ちゃん、押しが強いですね……
22 でしたらお言葉に甘えて、館の近くまで……お願いします
23
24
25 *走行中の車内。ハギ、助手席に座っている
26
27 S E：走行音
28
29 【左・中】
30 （ちらちら主人公を見てやや気まずそう）う……んんん
31
32 主人公「緊張しなくてもいいよ」
33
34 き、緊張しますよっ
35 ……お父さん以外の男の人の車に、乗ったことがないので
36 ほんのり、お兄ちゃんの匂いが……しますね

1
2 主人公「えっ、臭くない？」
3
4 *ハギ、焦る主人公を見て表情が和らぐ
5
6 ふふ、嫌な匂いじゃないですよ
7 むしろ……何て言うんでしょう、お茶を飲んだときみたいな気分になります
8 （苦笑交じりに）例えがわかりづらいですね
9
10 あの、大丈夫でしょうか
11 車に乗るところ、他の生徒や先生たちに見られてしまいましたけど……
12 付き合ってる、なんて思われちゃったかもですよ？
13
14 主人公「怪我してたししょうがないよ」
15
16 ですが、わたしが怪我してるって、みんな一目でわかったのでしょうか？
17 包帯を巻いているわけでもありませんし……
18 （ややまんざらでもないように）も、もし疑われたら……
19
20 主人公「そしたらちゃんと説明するよ」
21
22 （拗ねる）うー
23 お兄ちゃん、全然動揺しないですね
24 少しは……焦ってくれたっていいのに
25
26 ……ねえ、お兄ちゃん
27 ちょっと車、停めてもらってもいいですか？
28
29 S E：路肩に車を寄せて停める
30
31 【やや左・中】
32 ありがとうございます
33 （惑う）……
34
35 主人公「最近ちょっと様子が変わるぞ？」
36

1 変？ ……そうですね
2 そうかもしれません
3 わたし、最近ちょっと……変です
4 自覚はしてて……原因もわかってるんですけど……
5
6 えっと……わ、わたし！
7 今日のお昼休みに、男の子に告白されたんですよ！
8 というか、先週だって二人からされましたし……
9 これでもわたし、結構モテるほうだと思うんです
10
11 それに今日告白してくれた人は、頭も良くて女子たちから人気で
12 ああもうっ、そういうことを言いたいんじゃないんです！
13
14 主人公「……ハギ？」
15
16 【やや左・中→やや左・近】
17 お兄ちゃんは……お兄ちゃんは、
18 このままわたしがその子と付き合ったら、どう思いますか？
19 もう二人で補習できなくなるかもしれないんですよ？
20
21 【やや左・近】
22 それって何だか……ええと、何て言うんでしたっけ
23 寝取られ？ みたいで嫌じゃないですか！？
24
25 主人公「ね、寝取られって……どこでそんな言葉覚えてきたんだ」
26
27 わたしだってそういう言葉くらい知ってます！
28 どこで覚えたかだなんて、意地悪なお兄ちゃんには教えませんっ
29
30 それで……お兄ちゃんは、どう思っていらっしゃるんですか？
31
32 主人公「……まあ、確かにちょっと嫌かも」
33
34 （嬉しくなる）っ、ですよ！
35 わたしが誰かのものになったら嫌ですよ！
36

- 1 ふふっ
- 2 ご安心ください
- 3 もうすでにお断りしましたから
- 4 気持ちは嬉しかったですけど、わたしは……
- 5
- 6 何でもありません
- 7 でもちょっと、勇気が出てきました
- 8 ありがとうございます
- 9

1 ◆トラック 5 「借り物じゃない告白」
2
3 ＊体育祭当日、午後。倉庫で裏方の仕事をしている主人公
4
5 S E：遠くから盛り上がる声が聞こえている
6 S E：主人公、物を片付けている。そこにハギが走ってくる
7
8 【やや右・遠→中央・中】
9 はあ、はあ、はあっ……
10 お兄ちゃーん！
11 ここにいたんですね！
12
13 主人公「ハギ！？ 競技中じゃなかった？」
14
15 【中央・中】
16 はいっ
17 今借り物競争の途中で
18 とにかくついてきてください！
19 お兄ちゃんが必要なんです！
20
21 主人公「ええ……？」
22
23 S E：ハギ、主人公の手をとる
24
25 詳しいことはあとで！
26 さあ、行きましょう！
27
28 S E：走り出す二人
29
30
31 ＊グラウンド。レース後
32
33 S E：周囲から歓声
34
35 【中央・中】
36 はあ、はあ、は一……

1 ふふっ、やりましたね、おに……先生！
2 わたしたち、1位ですよ！ 1位！
3 あははっ
4
5 ありがとうございます
6 先生のおかげです
7 これでクラスの優勝に近づきましたね
8
9 あとは最後のリレーです
10 頑張ってきます！
11 脚の調子も絶好調ですから！
12
13 主人公「そろそろ手、放さないで……」
14
15 あっ……ごめんなさい
16 手、繋いだままでしたね
17 （小声）名残惜しいですが……
18
19 S E：手を放す
20
21 はいっ
22 ……先生の手、大きくて温かかったな
23
24 主人公「カードに何て書いてあったの？」
25
26 えっ？
27 あー、カードに何書いてあったか気になります？
28 ええと……ま、まだ内緒です！
29
30 あとでお教えするので、体育祭が終わったら会ってくれますか？
31 場所は……始業式の日にお喋りした校舎裏で
32
33 主人公「わかった」
34
35 では、また後程
36 ちゃんと来てくださいね……！

1 待ってますから！
2
3
4 *夕方、校舎裏
5
6 S E：主人公の足音
7
8 【中央・中】
9 あっ、お兄ちゃん
10 来てくださったんですね
11 体育祭、お疲れ様でした
12
13 *主人公、ハギに缶ジュースを渡す
14
15 ジュース、買ってきてくださったんですか？
16 ありがとうございます
17 マスカットの炭酸……わたしが好きなもの、覚えててくれたんですね
18 えへへ、いただきます
19
20 S E：缶ジュースのプルタブを開ける
21
22 (飲む) ん、んっ……ふはあ～
23 運動後の炭酸って、どうしてこんなに美味しいんでしょう
24 疲れがふしゅーって抜けていきます
25 ふふっ
26
27 ……惜しかったですね
28 全体2位……リレーが1位だったら、わたしたちのクラスがトップでした
29 あとちょっとでしたけど……
30 最後の体育祭、みんなと盛り上がれて楽しかったです
31
32 これから夏休みに文化祭、そして受験、ですか……
33 きっとあつという間なんでしょうね
34 毎日が貴重に思えてきます
35
36 主人公「そういえば、カードには何が？」

1
2 あっ、そうでした
3 カードですねー
4
5 くすくす、ここでハギクイズ〜！
6 カードには一体何て書いてあったのでしょうか？
7 わたしがお兄ちゃんを連れて行った理由……当てられますか？
8
9 主人公「年上とか？」
10
11 年上……それなら他の先生でも問題ありませんよ？
12 お兄ちゃんじゃないとだめだったんです
13 ふふ、鈍感なお兄ちゃんには難しいですかね？
14
15 主人公「自分より背が高い人？」
16
17 ぶぶー、違います
18 ……わたしから伝えたかったので、正解を言われなくてほっとしました
19 はい、これです
20
21 S E：カードを差し出すハギ
22
23 「好きな人」……そう書いてあるでしょう？
24 これを拾ったから、わたしはお兄ちゃんについてきてもらったんですよ
25
26 主人公「それって……」
27
28 ……はい
29 わたしは……お兄ちゃんが、好きです
30 ふふ……やっと言えました
31
32 中学の頃からってわけではないんです
33 4年経って再会して……また会えたのが嬉しくて、
34 それから補習をお願いするようになって
35
36 次第に、お兄ちゃんのことですごく頭がいっぱいになっていました

1 変な態度、いっぱいとっちゃって、ごめんなさい
2 でも、このままじゃ嫌で……どうしても伝えたいって思ったんです
3 それで、できることなら……お兄ちゃんの恋人になりたい
4
5 難しいことだっていうのはわかっています！
6 わたしは生徒で、お兄ちゃんは先生だから……
7 ですがわたしのこと、大人っぽくなったって言ってくださいましたよね？
8 ちょっとはわたしのこと、その……恋愛対象として、見ていただけませんか？
9
10 主人公「……」
11
12 な、何か仰ってください
13 お兄ちゃんの、素直な気持ちを聞きたいんです
14 わたしに、ドキドキ……しないですか？
15
16 主人公「……しないと云ったら嘘になる」
17
18 えっ、それじゃあ……！
19
20 主人公「でも……」
21
22 心配されるのは当然です
23 もちろん、付き合えたとしても、その関係は誰にも打ち明けられません
24 デートだってお外じゃ難しいし……
25
26 でも、それでもいいんです
27 お兄ちゃんと一緒にいられるなら、わたし、何でもします
28 それくらい……お兄ちゃんのことが好きなんです！
29
30 主人公「っ……！」
31
32 S E：ハギ、主人公の目の前に進み出る
33
34 【中央・近】
35 お兄ちゃん
36 わたしと……付き合ってください

1 お願いしますっ！
2
3 主人公「……本当に、俺なんかでいいの？」
4
5 当たり前です！
6 お兄ちゃんだからいいんです！
7 ずっと変わらない……優しくてカッコいいお兄ちゃんが、好き
8 これが恋だって、わたしようやくわかったんです
9
10 胸が弾む相手は、あなただけ
11 お兄ちゃん
12 わたしの想いを、受け取っていただけませんか？
13
14 主人公「……わかった。いいよ」
15
16 （感激）っ……本当ですかっ！
17 わぁ……良かったぁ……！
18
19 S E：ハギ、主人公に抱きつく
20
21 ふふっ、ありがとうございます
22 お兄ちゃん、だーいすきっ
23
24 S E：ハギ、主人公から離れる
25
26 【中央・中】
27 あっ、すみません！
28 言ったそばからつい……気をつけます
29
30 た、ただ、その……
31 えっと……今日頑張ったご褒美、とか、いただけませんか？
32
33 主人公「いいけど……」
34
35 ……ふふ、まだ内容言っていないのに
36 そんなに簡単に「いい」って仰ったら、だめですよ？

1
2 **【中央・中→中央・近】**
3 では……目を閉じて
4 一瞬だけ、許してくださいね
5
6 *主人公、目を閉じる
7
8 **【中央・近】**
9 (唇にキス) ちゅっ
10
11 ……しちゃいましたね、キス
12 えへへ
13 マスカットの味がします
14
15 キスって、こんなに体が熱くなるものなんですね
16
17 主人公「もしかして……初めてだった？」
18
19 は……はい、初めてですよ
20 誰ともお付き合いしたことないですから
21 お兄ちゃんが何もかも初めてです
22
23 だから、夢を見ているみたいで
24 ふふ
25 今日はとっても、幸せな日です
26

◆トラック 6 「教師と生徒と、ロッカーの中の恋心」

*数週間後、放課後。教室で並んで座り、補習中の二人

SE：ノートにシャーペンで書きこんでいるハギ

【やや左・中】

んーと、ここがこうで……このパターンだと確か……

これでどうでしょうか？

主人公「合ってる」

うん、この問題形式にもだいぶ慣れてきた気がします

あとは……期末に進路、ですね

自分がどうしたいか、そろそろちゃんと決めないといけません

ですが、今は……

SE：ハギ、主人公の手に指を絡ませる

【やや左・近】

ふふ

机の下でなら、手を繋いでもバレないでしょう？

本当の意味で、お兄ちゃんを独り占めしちゃいましたね

……不思議です

中学のときは、憧れのお兄ちゃんって感じだったのに

今では……ふふふっ

SE：体を寄せるハギ

【左・近】

一緒にいるだけでドキドキして……心臓の音が聞こえちゃいそうです

どうですか？ お兄ちゃん

お兄ちゃんは……

1 **【中央・近】**
2 （唇にキス）ちゅっ
3 ……ドキドキ、してくれてますか？
4 ちゅっ
5
6 **【中央・近→左・近】**
7 好きですよ、お兄ちゃん
8
9 **【左・近】**
10 補習中に、お手で繋いでキス……
11 悪いことをしているみたいです
12
13 ですが、問題ありません
14 この時間はもう、教室の前を通りかかる方はほぼいませんもの
15
16 **【左・近→中央・近】**
17 ですから、（キスしかける）ん……
18
19 S E：離れる主人公
20
21 **【中央・近】**
22 あ……
23 ふふ、恥ずかしがっていらっしゃるんですか？
24 お兄ちゃん、可愛いです
25
26 主人公「こんなところでしたら危ないよ」
27
28 **【中央・近→やや左・近】**
29 危ないと思われる気持ちもわかりますが……中に入ってこないと見えませんよ？
30
31 **【やや左・近】**
32 それとも……引いてしまいましたか？
33 こういうことするわたしって、はしたない、でしょうか？
34
35 主人公「え？」
36

1 だ、だってお兄ちゃん、全然その気になってくだらないし
2 本には「男の人は積極的なお誘いに弱い」って書いてあったのに
3 もしかして方法が違ってて、ただ品がないって思われているんじゃないかと……
4
5 主人公「そういうわけじゃないけど……」
6
7 そうではないんですか？
8 でしたら、なぜ……お兄ちゃんからキスをしてくだらないんです？
9 いつもわたしからで……まるでわたしだけがお兄ちゃんを好きみたいです
10
11 【やや左・中】
12 ……すみません
13 こんなこと言ったら、重いですよ
14 わたしってば、お兄ちゃんとお付き合いできているだけで贅沢なのに
15 我儘を言ってしまいました
16 忘れてください
17
18 （雰囲気を変えようとして） そうだ、クッキーを焼いてきたんです！
19
20 S E：ハギ、鞆から小さい袋を取り出す
21
22 糖分補給にどうぞ
23 お勉強のお供には、甘いものが欠かせませんものね
24 館でお勉強していたときも、おやつタイムが楽しみでした
25
26 覚えていますか？
27 お兄ちゃんが家庭教師として勤められた最後の日
28 「もしまたお会いできたら、わたしの作ったクッキーを食べてください」 って、
29 申し上げたんです
30
31 わたし、ちゃんとお料理も頑張りましたよ
32 何度お鍋を焦がして、材料を無駄にってしまったかわかりませんが……
33 やっとお客様に出せるレベルのものを、作れるようになったんです
34 料理長も認めてくださったんですよ
35
36 だから……ぜひ召し上がってください

1
2 S E：ハギ、袋を開けてクッキーを手にする
3
4 【やや左・近→中央・近】
5 チョコチップクッキーです
6 はい、あーん
7
8 主人公「じ、自分で食べるよ」
9
10 【中央・近】
11 そんなん、これくらい大丈夫ですよ
12 むしろキスより安全です
13 それに、憧れるじゃないですか
14 恋人に「あーん」ってするの
15
16 ね、いいでしょう？
17 あーん
18
19 S E：主人公、クッキーをかみ砕く
20
21 ……美味しいですか？
22
23 *主人公、頷く
24
25 やったあ
26 お兄ちゃんのお口に合って何よりです
27
28 いつか、お弁当も作ってみたいです
29 お兄ちゃんいつも学食にいるか、買った物を召し上がっているでしょう？
30 その……屋上でしたら人が来ませんから、一緒にランチでも……
31
32 S E：廊下を歩く二人分の足音
33
34 【やや左・中】
35 （驚く）えっ、あ……聞こえますか？ 足音
36 ど、どうでしょう

1 えっと、えっと……お兄ちゃん、こっち！
2
3 S E：主人公の手を引いて立ち上がらせ、
4 ロッカー（掃除用具入れ）へ駆け寄り、開けて中へ入る
5
6 *以下、小声
7
8 【中央・中】
9 閉めますよっ
10
11 S E：ロッカーを閉める。教室の扉を開けて入ってくる二人分の足音
12
13 【中央・近】
14 ど、どなたでしょう？
15 というか、咄嗟にロッカーに隠れてしまいました……
16 ただ補習をしているって言えば良かったのかも
17 すみません
18
19 とにかく彼らが教室を出るまで、ここでじっとしていきましょう
20 お兄ちゃん、絶対動いちゃだめですよ？
21
22 んっ、狭いですね
23 もうちょっとくつつきましょうか
24
25 S E：ハギ、主人公に密着
26
27 *以下囁き
28
29 【右・近】
30 ち、近い……
31 はぁ……お兄ちゃんの呼吸、伝わってきます
32 ドクンドクンって、速いです……
33
34 もしかしてこれって、わたしの鼓動でしょうか？
35 わ、わからないですね
36 ふう……

1
2 S E：主人公、身じろぐ
3
4 あっ、ごめんなさい
5 息、当たっちゃいましたか？
6
7 こんなときだっていうのに、わたし……この状況を楽しんでいます
8 わたしたちの関係は、絶対に秘密なのに……バレちゃいけないのに
9 わたし、お兄ちゃんと付き合い始めて、悪い子になっちゃったみたいです
10
11 主人公「……なんだか悪いことをした気分だ」
12
13 え？
14 お兄ちゃんは、悪いことなんて何もしていませんよ
15 わたしが望んでこうなっただけです
16
17 【右・近→中央・近】
18 お兄ちゃん……
19
20 【中央・近】
21 （唇にキス）ちゅっ
22
23 主人公「ハギ！」
24
25 しーっ
26 声出しちゃ、めっ、です
27
28 【中央・近→左・近】
29 ふふ……ここまで密着していたら、どこに触れてもおかしくないですね
30
31 【左・近】
32 耳や、背中……それから、誰にも晒していない部分まで
33 今なら、怒りませんよ？
34 （やや恥ずかしそうに）だ、だから……
35
36 主人公「しないよ、そんなこと」

1
2 **【やや左・近】**
3 っ……
4 ど、どうして、してくださらないんですか？
5 わたし、そんなに魅力ないですか？
6
7 主人公「違うよ」
8
9 でしたら、なぜ……
10
11 主人公「ハギが生徒で、俺が教師だから」
12
13 (ショック) ……！
14
15 **【中央・近】**
16 そうですね、わたしたちは……先生と生徒です
17 普通の恋人みたいにはいかないって、わかっています
18 わかっていますけど……
19 それでも、キスをするのはいつもわたしからで、お兄ちゃんからは触れてくれなくて……
20
21 お兄ちゃんは本当にわたしのこと、好きですか？
22
23 主人公「……どうしてそういう風に思った？」
24
25 だ、だって……お兄ちゃん、
26 わたしに一度も「好き」って、言ってくださらないじゃないですか
27
28 *囁きここまで
29
30 S E：教室を出て行く二人分の足音。教室のドアが閉まる。廊下を去っていく足音
31
32 ……行かれたみたいですね
33
34 S E：ハギ、ロッカーを開けて出る
35
36 **【中央・中】**

- 1 子どもっぽいこと言って、ごめんなさい
- 2 少し……頭を冷やします
- 3

1 ◆トラック7「いつか隣で歩くために」
2
3 *ハギ視点。夜、館の庭
4 *位置はハギが【やや左・中】、キキョウが【やや右・中】でお願いします
5
6 S E：静かな夜の環境音。ベンチに座るハギ
7
8 【ハギ】
9 (溜息) はあ……
10 お兄ちゃんに酷いことしちゃった
11
12 わかってたのにな、簡単じゃないって
13 ただでさえお兄ちゃんは先生なのに、わたし、一人で舞い上がって……
14
15 *ハギ、星を見上げる
16
17 ふー
18 今夜は星がはっきり見えるなあ
19 えっと、あれは何ていう星座だっけ？
20 ご主人様ならわかるかな？
21
22 S E：キキョウが近づく足音
23
24 【キキョウ】
25 ハギちゃん
26
27 【ハギ】
28 キ、キキョウお姉様！
29 こんな夜更けにどうなさったのですか？
30
31 【キキョウ】
32 今夜はご主人様がいらっしゃらないので、お散歩でもと思って
33 隣、座ってもいい？
34
35 【ハギ】
36 はいっ、そうぞ

1
2 S E：椅子に座るキキョウ
3
4 【ハギ】
5 ご主人様の出張、明後日まででしたね
6 やっぱり、寂しい……ですか？
7 恋人さんがいないっていうのは
8
9 【キキョウ】
10 えっ？ どうしたの急に
11 ハギちゃんがそういう話題を口にするなんて、珍しいわね
12
13 【ハギ】
14 す、すみません
15 立ち入ったことを……
16
17 【キキョウ】
18 ふふ、ちょっと驚いただけ
19 いいのよ
20 そうね……やっぱり、ご主人様がいらっしゃらないと寂しいわ
21 心にぽっかり穴が開いたみたいだもの
22
23 【ハギ】
24 穴……ですか
25
26 【キキョウ】
27 私とご主人様は、お仕事でもプライベートでも一緒にいるでしょう？
28 だから一心同体のようなもので、離れるとそういう風に感じてしまうのよ
29
30 【ハギ】
31 お二人は……本当に仲がよろしいのですね
32
33 【キキョウ】
34 ……ハギちゃん？
35
36 【ハギ】

1 あのっ
2 お姉様は、どうやってご主人様と結ばれたのですか？
3
4 【キキョウ】
5 え？
6
7 【ハギ】
8 その……メイドとご主人様っていう壁があったと思いますが……
9 それでもお二人が心を通わせて、お付き合いなさるに至った理由を知りたいのです
10 ……お願いします
11
12 【キキョウ】
13 ……そうね
14 私とご主人様は、幼い頃から一緒に過ごしたの
15 楽しいことも、辛いことも、すべて分け合ってきた
16 まるで本当の家族のように思い合って、やがてそれが恋心へと変わって……
17 だけど、ご主人様を愛しく想うからこそ、なかなか言い出せなかった
18
19 身分の差はもちろん、私はご主人様より年上だし……
20 私が好きだと伝えたら、困らせてしまうと思ったの
21
22 【ハギ】
23 お二人が想い合っていること、使用人たちはみんな察していましたが、
24 当のお二人はまったく気づかれませんでしたよね
25
26 【キキョウ】
27 恥ずかしながら……
28 だからこのまま気持ちに蓋をして、ご主人様の幸せを願っていたのだけど……
29 ご主人様が、私を好きだと言ってくださって
30 それで私も正直に伝えることができたの
31
32 【ハギ】
33 凄くロマンチックです
34 ずっと「早くくっついてー！」って思っていたので、
35 お付き合いされたと知ったときは、自分のことのように喜んでしまいました
36

1 【キキョウ】
2 ふふ、ハギちゃんは優しい子ね
3 ……私、あなたたちには感謝しているのよ
4 周囲の応援がなければ、私たちは結ばれることはなかったもの
5 ハギちゃんやナデシコさん、お婆様……たくさんの方々が見守ってくださった
6 だからこうして今、私とご主人様は一緒にいられるのよ
7 ありがとう
8
9 【ハギ】
10 えへへ、どういたしまして
11
12 【キキョウ】
13 それで……ハギちゃんも、恋人ができたのよね？
14
15 【ハギ】
16 ふえっ！？
17 え、えーと、一体何のことでしょうか？
18
19 【キキョウ】
20 隠してもバレバレよ？
21 ねえ、お相手はどんな方なの？
22 ハギちゃんの選んだ人ってことは、思いやりに溢れた方なんでしょうね
23
24 【ハギ】
25 （照れくさい）……はい、とても素敵なお人です
26 わたしには勿体ないくらいで
27
28 【キキョウ】
29 ……ひょっとして、中学のときの家庭教師の方？
30
31 【ハギ】
32 ええっ！？
33 え、ど、どうして……えっと！
34 わたし、お話ししてましたっけ？
35
36 【キキョウ】

1 いいえ、だけどそうなのかなって
2 始業式の日、「家庭教師の先生と再会した」って言っていたでしょう？
3
4 それでちょっと前に、その先生の車に乗せてきてもらったじゃない？
5 帰ってきたときのハギちゃんの顔、恋する乙女って感じだったんだもの
6
7 【ハギ】
8 う、そんな顔していたんですね
9 恥ずかしいです……
10 あの、このことは他の方には内緒にしていただけないでしょうか？
11
12 【キキョウ】
13 ええ、もちろん
14 それにしても、教師と生徒の恋愛だなんて、本当にあるのね！
15 背徳的で素敵だわあ
16 ハギちゃん、私、応援するわね！
17
18 【ハギ】
19 ありがとうございます……！
20 長年の恋を实らせたお姉様にそう言っていただけると、心強いです
21
22 【キキョウ】
23 ふふっ
24 ……だけど、卒業するまでは周囲に知られないようにしなきゃね
25
26 【ハギ】
27 はい……最近実感しています
28 やっぱり普通の関係じゃないんだなって
29
30 それに、お兄ちゃんはずっと夢だった先生になれたんです
31 わたしのせいで職を追われるわけにはいきません
32
33 【キキョウ】
34 彼氏さんのためでもあるけど……
35 これはね、ハギちゃんのためでもあるのよ
36

1 【ハギ】
2 え？
3
4 【キキョウ】
5 忘れた？
6 ハギちゃん、あなた今、高校3年生よ
7 凄く大事な時期じゃない
8 これからどう生きるか、それはハギちゃんが決めることだけど、
9 問題が発覚したら選択肢が少なくなっちゃうのよ
10
11 【ハギ】
12 ……そうですね、お姉様の仰る通りです
13 わたし、自分のこともっと考えなきゃいけないのに……
14 目を背けて、お兄ちゃんにべったりで
15 こんなんじゃ、いつになっても大人になんてなれないですよね
16
17 【キキョウ】
18 恋をするのはいいことだけどね
19 心の栄養にもなるし
20 好きな人のそばにいと、幸せな気持ちになれるものね
21
22 【ハギ】
23 ……わたしはお兄ちゃんのこと、好きですけど……
24 お兄ちゃんは、正直わかりません
25
26 【キキョウ】
27 ……なるほど
28 だから浮かない顔をしていたのね
29
30 【ハギ】
31 （苦笑交じりに）お姉様には、何でもお見通しなんですね
32 告白も、キ……キスをするのも、わたしからなんです
33 恥ずかしがってとか、立場を気にしてとか、
34 それでご自分から手を出せないのだと思っていました
35
36 ですが……自信がなくなってきたんです

1 それこそわたしが3年生だから、傷つけないように気を遣ってくださったのかなって
2 どうしたら、お兄ちゃんの気持ちがわかるのでしょうか？
3
4 【キキョウ】
5 ……こういうときはね、直接訊いてみるのが一番よ
6
7 【ハギ】
8 直接、ですか？
9
10 【キキョウ】
11 ええ
12 彼氏さんがハギちゃんを心から思っているなら、きっと誠実に答えてくれると思う
13 例えその感情が、恋じゃなくてもね
14
15 【ハギ】
16 ですが、怖いです
17 もし好きじゃないって言われたら……
18
19 【キキョウ】
20 結果がだめでも、ハギちゃんが本気で彼を想っていたことに変わりはないわ
21 訊かずにずるずる続けたり、相手の気持ちを試したりするよりも、
22 そっちのほうハギちゃんらしくていいと思うの
23
24 【ハギ】
25 お姉様……そうですね
26 お兄ちゃんの気持ちを知るまでずっとこのままなら、いつそ……当たって砕けてきます！
27 で、できるだけ砕けなくはないですが……
28 お兄ちゃんがわたしと同じ気持ちじゃなくても、受け入れて前に進みます
29
30 ありがとうございます、お姉様
31 もうすっかり、恋愛上級者ですね
32
33 【キキョウ】
34 そ、そんなことないけど……その恋が実るように、祈っているわ
35
36 あ、それとハギちゃん

1 あなたはどんな道に進んでも、上手くやっていけるはずよ
2 だから自由に、自分の心に素直になってね
3
4 【ハギ】
5 はいっ、キキョウお姉様！
6
7
8 *主人公視点。翌日、放課後、屋上
9
10 S E：環境音。屋上のドアを開けて入ってくるハギ
11
12 【中央・遠→中央・中】
13 お兄ちゃんっ
14 突然呼び出してごめんなさい
15
16 【中央・中】
17 お話があります
18 その……ちゃんとはつきりさせたいんです
19 お兄ちゃんをこれ以上振り回さないためにも
20
21 あのね
22 わたし……お兄ちゃんのことを、好きです
23
24 主人公「……知ってるよ？」
25
26 えへへ、ご存じですよ
27 もう何度も言っていますし
28
29 わたしの「好き」という気持ちは、恋愛感情です
30 憧れの人に再会したことで、運命を感じて恋だと勘違いしているわけじゃありません
31 本当に、好きなんです
32 ずっと一緒にいたいんです
33 卒業しても、ずっと……
34
35 お兄ちゃんは、わたしのことをどう思っていますか？
36 わたしと、どうなりたいですか？

1 お兄ちゃんの本当の思いを教えてくださいたいんです
2
3 先生としてじゃなく、一人の殿方として、
4 もし同じように思ったださっているんだったら……
5 わたしを、愛してください
6
7 主人公「……」
8
9 ……あはは、困りますよね
10 わたし、やっぱり重いのかもかもしれません
11
12 お兄ちゃんのお返事を聞く前に、一つ報告させてください
13 やっと、進路を決めました
14
15 自分が将来どうなりたいか、これまでよくわかっていませんでしたが……
16 わたし、進学しようと思います
17 お兄ちゃんにお勉強を教わって、もっと色んなことを学んでみたいって思ったんです
18 だから、これから受験勉強に力を入れます
19 今からじゃ遅いかもしれませんが……
20
21 それで、もし合格したら、この街を出るつもりです
22 生まれてからずっと、わたしは館の方々に甘えて生きてきました
23 今のわたしに足りないのは、一人で生活する力です
24 ですので自立するために、一人暮らしをしてみたいんです
25 応援、していただけますか？
26
27 主人公「……ああ、もちろん」
28
29 ありがとうございます
30 お兄ちゃんなら、きっとそう言ったださると思っていました
31
32 それで、もし遠い地域に行ったら、お兄ちゃんと離れることになります
33 気軽には会えないでしょうし、
34 もしかしたらわたしなんかよりナイスバディーで魅力的な女性と出会うかもしれません
35 だから、わたしに興味がないなら、どうか今のうちにきっぱり……
36

1 主人公「……ハギのことは、ずっと前から好きだったよ」
2
3 えっ？
4 今、なんて……
5 好き？
6 ほ、本当ですか？ わたしに気を遣ってとかじゃなく？
7
8 主人公「ああ、好きだ。不安にさせてごめん」
9
10 【中央・中→中央・近】
11 （泣きそう）っ……お兄ちゃんっ！
12
13 S E：主人公に飛びつくハギ
14
15 ＊ハギ、泣き出す
16
17 【中央・近】
18 ひっ、ひっく……も、もうっ
19 ずっと不安だったんですよ！
20 こんなに好きなのに、お兄ちゃんを苦しめていたらどうしようって、わたし……
21 良かったあ、良かったよお……うわぁあんっ
22
23 S E：主人公、ハギの頭を撫でる
24
25 主人公「謝るのはこっちの方だよ。彼女を安心させることすらできないなんて……」
26
27 ＊ハギ、泣き止もうとする
28
29 う、うう……ひっく
30 お兄ちゃんのなでなで、凄く優しいです
31 うー……ひっく
32 でも、どうして今まで好きって言ってくださらなかったんですか？
33
34 主人公「ハギはまだ若いだろ？」
35
36 え？

1 まあ、確にお兄ちゃんよりは若いですけど……それが理由？
2
3 主人公「そんな大事な時期を独占していいのかなと思って……
4 それに、俺はハギよりそれなりに年上だし」
5
6 ……お兄ちゃんも、悩んでいらしたんですね
7 わたしのことを想って……
8 でも、例えわたしが何歳でも、どれだけ大事な時期でも、
9 好きな人に独占されるのは嬉しいんですよ
10 相手が、お兄ちゃんなら……
11
12 だからこれからは、わたしをもっと求めてください
13 卒業するまでは、色々我慢しなきゃいけないこともありますけど……
14 わたしたちは、恋人ですから
15 全力で「好き」をぶつけてほしいんです
16 わたし、それをすべて受け入れますから
17
18 ……ふふ、ほっとしたら力が抜けてきちゃいました
19 お兄ちゃん
20 もう少しこのままで、いさせてください
21 落ち着いたら、今日は帰りますので……
22
23 *主人公、ハギに優しくキスをする
24
25 んっ、んんっ！？
26 ん、ちゅう……んっ、ちゅ、ちゅう……ちゅっ
27 はあ、んっ
28
29 お、お兄ちゃんからキスしてくれるなんて……初めてですね
30
31 *再びハギにキス
32
33 ん、ちゅ……ちゅ、んんっ
34 ちゅ、ちゅう……ちゅっ、はあ
35
36 気持ちいい、です

1 優しいキス……お兄ちゃんの気持ちが伝わってきます
2 好き、好きです、お兄ちゃん
3
4 主人公「俺も好きだよ」
5
6 ふふ、嬉しい
7 大好きですよ
8
9 【左・近】
10 ……あの
11 ハギのお願い、一つ聞いてくれますか？
12 嫌だったら、お断りしていただいてもいいので
13
14 今週末……
15 お兄ちゃんのおうちに、行ってみたい……です
16 だめですか？
17

1 ◆トラック 8 「萩が咲いたから」
2
3 *週末、主人公の自宅
4
5 S E : 部屋のドアを開けて入る二人
6
7 【やや右・中】
8 お邪魔しまーす……
9 わぁ、ここがお兄ちゃんのお部屋……
10
11 綺麗にされているんですね
12 床にまったく物が落ちていません
13
14 主人公「気合入れて片付けたからね」
15
16 わたしのために片付けてくださったんですか？
17 ありがとうございます
18
19 車の中と同じ
20 お兄ちゃんの匂いがします、えへへ
21 殿方のお部屋に入ったの、館のお掃除以外では初めてです
22 こんな感じなんですね
23
24 S E : 主人公、ハギを引き寄せる
25
26 【中央・近】
27 あっ……お、お兄ちゃん
28 いきなり抱き寄せられたら、びっくりしちゃいますよ
29 心臓が飛び出るかと思いました
30
31 主人公「嫌だった？」
32
33 嫌だなんてとんでもないです
34 嬉しい、です
35 お兄ちゃんからこうしてくれて
36

1 **【中央・近→やや右・近】**
2 それじゃあ、わたしからも
3
4 **【やや右・近】**
5 （右頬にキス）ちゅっ
6 ……唇にしようと思ったんですが、急に恥ずかしくなってほっぺたになっちゃいました
7
8 主人公「いつもはそんなことないのにね」
9
10 わたし、そんなにいつも大胆ですか？
11 いけませんね、もっとおしとやかにならなきゃ
12
13 主人公「このままでいいよ」
14
15 このままでいいんですか？
16 でしたら……今よりちょっとだけ、落ち着いた大人を目指します
17
18 **【やや右・中】**
19 あっ
20 あれ、お兄ちゃんがいつも寝ているベッドですか？
21 ……座ってみても？
22
23 主人公「いいけど……」
24
25 えへへ
26 それじゃあ、失礼します
27
28 S E：ハギ、ベッドに近づいて腰掛ける
29
30 **【中央・遠】**
31 んっ……寝心地良さそうですね
32
33 S E：主人公、ハギに近づく
34
35 **【中央・遠い→中央・中】**
36 どうしました？ お兄ちゃん

1
2 主人公「好きな子が自分のベッドに座ってるのって、ちょっと緊張する」
3
4 【中央・中】
5 え、緊張、ですか？
6 実はわたしもです
7好きな人のベッドに座って、緊張しないはずがないじゃないですか
8
9 隣、座ってください
10
11 S E：主人公、ハギの隣に座る
12
13 【左・中】
14 んっ……
15
16 S E：ハギ、主人公の髪に触れる
17
18 よしよし
19
20 あれっ、どうしてわたし、お兄ちゃんの髪を……
21 す、すみません、無意識につい
22 ……お兄ちゃんに、触れたくなったのかもしれませんが
23
24 *主人公、ハギにキス
25
26 【中央・近】
27 ちゅっ、んんっ
28 ん、んちゅ……ちゅ、ちゅっ、はぁ……あっ、ん……ちゅっ
29 ちゅ……んあっ、はぁ……ちゅ
30 お兄、ちゃん？
31
32 *ディープキスに変わる
33
34 んうっ、ちゅ、ちゅう、んっ、ちゅ、んっ……はぁ、あっ
35 ん……ちゅ、ん……んあ、ちゅう、ちゅっ
36

1 はあ……
2 キスするたびに……好きって気持ちが溢れてきます……
3
4 ちゅっ、ちゅ……ん、あっ、ちゅう……ちゅ、んっ、んんっ
5 ん、ちゅ、ああ、ちゅう、んちゅ……はあ
6
7 体が……んっ、ちゅ
8 ふわふわします
9
10 【中央・中】
11 こ、これ以上キスしたら、先に進んでしまいそうです
12 もちろん、いつかそうなりたいですけど……も、もうちょっと待っていてほしい、です
13 その代わり、今日は……お兄ちゃんを癒してさしあげたいと思っているので
14
15 主人公「癒す？」
16
17 はい
18 ずっとお疲れのご様子でしたので、こういう日くらい、ゆっくりなさってほしくて
19
20 主人公「でも、せっかくのデートなのに」
21
22 セっかくのデートだからこそ、ですよ
23 おうちに行きたいとおねだりしたのはわたしですし、
24 貴重な休日を一緒に過ごしてくださっているお礼も兼ねて……ね？
25 お願いします
26
27 主人公「じゃあ……お言葉に甘えて」
28
29 はい、かしこまりました
30
31 以前、教室で頭をなでなでしながら眠ったことがありましたよね
32 それとはまた違ったことをしたいと思います
33
34 S E：ベッドから降りるハギ
35
36 【やや右・中】

1 (降りる息遣い) ん、と……
2
3 S E : ハギ、座布団に座ってバッグから箱を取り出す
4
5 お兄ちゃん
6 膝枕しますので、わたしの膝に頭を乗せて、横になってください
7
8 S E : 箱から耳かき (竹) を取り出す
9
10 耳かきのお時間です
11 えへへ、今日のためにご用意したんですよ～
12 さあ、どうぞ
13
14 S E : 主人公、ベッドから降りる
15
16 【やや右・近】
17 ここにはわたしたち以外、誰もいませんよ
18 ですので……安心していらしてください
19
20 S E : 主人公、横になる
21
22 【右・中】
23 まあ、可愛い……うふふ
24
25 S E : ハギ、主人公の髪を撫でる
26
27 よしよし
28 いいですね……
29
30 主人公「ハギ」
31
32 (苦笑して) ごめんなさい、わたしってばまた調子に乗ってしまいました
33 こほん
34 では、早速始めますね、お兄ちゃん
35 優しくゆっくりしますから、ハギに身を委ねてください
36

1 S E : 右耳かき (継続)
2
3 * 以下、囁き
4
5 **【右・近】**
6 ゆっくり、ゆっくり
7 かり、かり
8 かり、かり
9 こんな感じでしょうか？
10 痛くはありませんか？
11
12 主人公「大丈夫」
13
14 では、続けますね
15
16 (ゆったりとした息遣い 2分)
17
18 お兄ちゃんのお耳の形、わかってきました
19 耳かき、楽しいです
20
21 主人公「もしかして慣れてる……？」
22
23 慣れているように見えますか？
24 そうですね……決してそんなことはないんですが、
25 ご主人様のご親戚のお子様たちにも、耳かきさせていただいたことがあるんです
26 そう、補習のときにお話した子たちです
27
28 膝の上って、皆さん落ち着かれるんでしょうね
29 元気にお外を走り回っていた子でさえ、うっとりなさっているんです
30 動かれては危ないので、わたしとしてはとても助かりますが
31
32 人のお耳をお掃除するのは、最初は怖かったですけど……
33 安らいだお顔を見ると、お役に立ててるって実感できて嬉しいものです
34
35 一度、耳かきを待つお子様たちで列ができたこともありますね
36 順番に耳かきをしていったんですよ

1 時間がかかってしまいましたが、満足してお帰りになられて安心しました
2
3 主人公「ずるいな、その子たち」
4
5 ひょっとして、嫉妬していらっしゃるんですか？
6 相手は小さな子どもですよ？
7 お兄ちゃんって、もしかしてわりと独占欲、強かったりします？
8 だとしたら……嬉しいかも
9 わたしのこと、それだけ好きってことですもんね
10
11 もしお兄ちゃんがその状況を目の前にしたら、割り込んでしまうんでしょうか？
12 ふふ……いいえ、そんなことはしませんよね
13 お兄ちゃんは優しい人ですもの
14
15 主人公「圧かけられてる……？」
16
17 うふふ、圧なんてかけていませんよ
18 本当に……お兄ちゃんは、ずっと前から優しい人でした
19
20 初めての家庭教師を相手に不安になっていたわたしに、
21 「先生って呼ばなくていいからね」って言ってくださったこと、覚えていますか？
22 それから「お兄ちゃん」って呼ぶようになったんですよ
23
24 親しみ深くて、それに息抜きの大切さも教えてくれて
25 難しい問題を解き終わって頭がいっぱいいっぱいになると、
26 お部屋で映画を観たり、ゲームで対戦したり……
27 思えば、お勉強以外のこともたくさんしていた気がします
28
29 それでも成績が伸びて、無事に高校に入れたのは、お兄ちゃんのおかげですね
30 高校でも面倒を見てくださって……感謝してもしきれません
31
32 いつか恩返しをしなきゃです
33 この耳かきも、その一環になるでしょうか？
34 ふふ
35 もしお気に召していただけたら、またしてさしあげますね
36

1 (ゆったりとした息遣い 4分)
2
3 S E : 耳かき音ここまで
4
5 はい
6 お耳、すっきりされましたか？
7
8 あ、最後に……
9 (息を吹きかける) ふー
10
11 【右・中】
12 では、反対を向いてください
13
14 S E : 主人公、向きを変える
15
16 【左・中】
17 ありがとうございます
18 こちらも、入れてきますよ……
19
20 S E : 左耳かき (継続)
21
22 【左・近】
23 かり、かり
24 かり、かり
25
26 (ゆったりとした息遣い 2分)
27
28 お兄ちゃん、眠そうですね
29 いいですよ、ハギの膝の上でおねんねしても
30
31 主人公「ハギ。二人のときはタメ口で喋ってもいいよ」
32
33 え……タメ口、ですか？
34 確かに二人きりですが、お兄ちゃんは年上ですし……
35 それに、これでも館の方々とお話するときより、崩しているんですよ？
36

1 主人公「そうなの？」
2
3 はい
4 ですのでお仕事モードのハギを見たら、お兄ちゃんは驚かれるかもしれませんね
5
6 主人公「見てみたいな」
7
8 いつかお見せする日も来るかもしれません
9 正式に、恋人としてお兄ちゃんを館にお連れする際、とか……
10
11 主人公「……怒られないかな？」
12
13 あら、怒られるなんてことはないですよ
14 その……実はキキョウお姉様にだけバレてしまったのですが、祝福していただきました
15
16 主人公「バレてたの！？」
17
18 あはは……すみません
19 前に車で送っていただいたときにわかったらしくて
20
21 ですが、他の方には知られていません
22 体育祭のカードだって、拾って確認したときに係の人に訊いたんです
23 「好きな人がいないから、代わりに憧れている先生でもいいですか？」って
24 それでオッケーをいただいて、お兄ちゃんを探しに行ったんですよ
25
26 主人公「賢いね」
27
28 へへ～、お兄ちゃんに賢いって言われちゃいました
29 これなら受験も期待できそうですね、なんて
30 ちゃんとたくさんお勉強します
31
32 でも、敬語ですか
33 そうですね、いつかその……お嫁さん、になるときが来たら、やめたいと思います
34
35 主人公「卒業したらもういいんじゃない？」
36

1 卒業したら？
2 そ、それはちょっと……まだ早くないですか？
3
4 主人公「でも聞いてみたいな、タメロ」
5
6 うう
7 で、でも、お兄ちゃんがそうしてほしいって仰るなら、頑張ります
8
9 あ、あの
10 今、少しでも練習してみてもいいですか？
11 敬語を抜いた話し方……
12
13 にやにやしてますね
14 歓迎ということでしょうか？
15
16 こほん
17 えー、あー
18 お兄ちゃん、耳かき……どう？
19 気持ちいいで……気持ちいい？
20
21 主人公「うん」
22
23 隅々まで綺麗にしてあげるね
24 お目々閉じて、この感覚に集中して……
25
26 ここを、こうして
27 ん……ゆっくり、くるくる一っつ回すと……汚れが一気に取れるんだよ
28
29 くるくる
30 くるくる
31 くる……くるっ
32 お兄ちゃんのお耳、可愛いね
33 今度、ぱくってしちゃおうかなあ
34
35 (恥ずかしそうに) ……んっ、この辺りで限界です、うう……
36 恥ずかしくなってきました……仕上げに入りますよ

1
2 (ゆったりとした息遣い 4分)
3
4 S E : 耳かきここまで
5
6 うん、綺麗になりました
7 (息を吹きかける) ふー
8 お疲れ様でした、お兄ちゃん
9
10 *囁きここまで
11
12 【左・中】
13 (あくび) ふああ……
14 お兄ちゃんの様子を見ていたら、わたしも眠くなってきちゃいました
15 ちょっとだけ、一緒にお昼寝……しますか？
16
17 主人公「いいの？」
18
19 ええ、お兄ちゃんさえよければ
20 ベッド、上がってもいいですか？
21
22 S E : 二人、立ち上がってベッドに上がる
23
24 【中央・中】
25 で、では……
26
27 S E : 横になる二人
28
29 *以下、囁き
30
31 【中央・近】
32 んっ、ロッカーに隠れたときを思い出します
33 ですが……今は人目ありません
34 お兄ちゃん、目を瞑っていただけますか？
35
36 *主人公、目を閉じる

1
2 そのまま、わたしに触れてください
3 どこでも構いません
4 ただ、目は開けないで
5 ……そうすれば、わたしも恥ずかしくないので
6
7 主人公「いいのか？」
8
9 そ、その確認はちょっぴりいやらしいです
10 わたしが、してほしいので……どうぞ
11
12 S E：ハギの腕に触れる
13
14 ん……そこは腕です
15 お兄ちゃん、もっと真っ直ぐ手を伸ばしてもいいんですよ？
16 外側じゃなくたって……
17
18 S E：ハギの首に触れる
19
20 あっ……
21
22 主人公「だ、大丈夫？」
23
24 へ、平気です
25 首、ですね
26 んっ……撫でられると、くすぐったいような、気持ちいいような……変な感じがします
27
28 ふあっ……首、好きなんですか？
29 んっ、何度も触れて……わたしの反応、面白がっていませんか？
30
31 S E：ハギの腰に触れる
32
33 ああっ
34 び、びっくりした
35 腰はちょっと、んんっ、なぜか弱くて……
36

1 主人公「触られたことあるの？」
2
3 いえ、触れられたことがあるというより……
4 マッサージチェアで腰を揉む動作、あるじゃないですか
5 あれが苦手で……あんっ
6
7 主人公「可愛い……」
8
9 か、可愛い？
10 はしたない声を出してしまったのに……
11 難しいですね、お兄ちゃんの好みは
12
13 もっともっと、知る必要があるかもしれません……
14 続けてください
15
16 S E：ハギの体に触れていく（継続）
17
18 （息遣い　時々感じ入るように　30秒）
19
20 S E：衣擦れここまで
21
22 んっ……満足されましたか？
23
24 主人公「うん。ハギは？」
25
26 わ、わたしは充分すぎるくらいです
27 ありがとうございます
28 ですが……眠気が飛んでいってしまったかもしれません
29 わたしのこと、抱き締めてくださいますか？
30
31 S E：主人公、ハギを抱き締める
32
33 ああ……一番リラックスできる場所は、ここですね
34 これなら眠れそうです……ふああ
35 お兄ちゃんも、わたしをすぐそばで感じながらお休みください
36

1 それで起きたら、お部屋をお掃除させてくださいね
2
3 主人公「……汚かった？」
4
5 いえ、綺麗ですが……
6 窓のサッシや水回りなんかは、あまりお手入れしていないでしょう？
7
8 主人公「う……よくわかったね」
9
10 （笑い交じりに）メイドの勘です
11 お昼寝をしたら、特別にメイドのハギとしてお兄ちゃん……ご主人様にお仕えますね
12 レアなハギの姿、ぜひその目に収めてください
13
14 ふああ……そろそろ限界かもです
15 おやすみなさい、お兄ちゃん
16
17 主人公「好きだよ、ハギ」
18
19 はい
20 わたしも、大好きですよ
21 （唇にキス）ちゅっ
22
23 （ゆっくり寝息　20秒）
24
25

◆トラック 9 「ただいま」

* 1 年後、夏。空港

S E : 空港内の環境音。スーツケースを引いて歩いてくるハギ

【やや右・遠】

あっ、お兄ちゃん！

ただいま帰りました！

S E : 駆け寄ってくるハギ

【中央・中】

空港まで来ていただいてありがとうございます

お変わりなさそうで良かった

って、まだ半年も経っていませんでした

本当はゴールデンウィークにも帰ってきたかったんですが……大学の課題が多くて

だからお盆は絶対帰省しようって決めてたんです

やっとお会いできましたね

主人公「敬語、まだ抜けないね」

あはは、そうなんです

何度かタメ口の練習をしてはみたんですけど、やっぱりこのほうがしっくりきて

ですのでもうしばらく、練習期間を設けさせてください

これからお兄ちゃんのおうちに伺う予定でしたが、大丈夫でしたか？

* 主人公、頷く

では、行きましょう

久しぶりなので楽しみです

* 主人公の部屋

1
2 S E：ソファに座る二人
3
4 【やや左・中】
5 ふう……やっと一息つけました
6 飛行機の中はあまり落ち着かなくて
7 隣の人との距離が近いからですかね？
8
9 コーヒー、いただきます
10
11 S E：テーブルからカップを手にするハギ
12
13 （飲む）ごくごく……うん、美味しいです
14 お兄ちゃん、コーヒー淹れるのお上手ですね
15
16 主人公「ハギがコーヒー好きなの、本当に意外だったよ」
17
18 ああ……そういえばわたしが最初にコーヒーを飲んだとき、驚いていらっしやいましたね
19
20 甘いものも大好きですけど、この風味がたまらないんです
21 さすがにミルクは必要ですけど
22
23 ですが、そんなに子どもっぽい味覚のイメージでした？
24 （舌を出して）べー……どうですか？ ふふっ
25 （舌をしまって）18歳はもう、大人なんですよ？
26
27 それに、先生と生徒っていう関係ではなくなりましたから……
28 わたしたちは、大人同士のカップルということになります
29 だから……
30
31 S E：ハギ、カップをテーブルに置く
32
33 【やや左・中→中央・近】
34 そろそろ次のステップに進んでも……いいんですよ？
35
36 主人公「じゃあ……今から？」

1
2 **【中央・近】**
3 えっ、あっ、その
4 い、今からっていうのは、ええと……きよ、今日じゃなくて明日、とか！
5 ま、まだ心の準備が……！
6
7 主人公「冗談だよ」
8
9 **【中央・中】**
10 冗談？
11 もうっ、お兄ちゃん酷いです！
12 ハギのこと弄ばないでくださいっ
13
14 でも……本当に、明日、なら
15 う……
16
17 こ、この話はまた後にしましょう！
18 ひとまず、お互いの近況報告でもしましょうか
19
20 わたしはなんとか毎朝起きて、大学に行っています
21 来年に向けてコースを選択する必要があるので、今年は幅広く学ぶそうで
22
23 今のところ、食品研究のコースを希望する予定です
24 メイドとして働いていたことや、お兄ちゃんに教わったお勉強も活かせるかなって
25 数学というよりは化（ばけ）学ですけど、理系に進んで良かったです
26
27 大学を卒業したら、こっちの地域で就職するつもりですが……
28 あの、お兄ちゃん
29 そうしたら、わたしと一緒に住んでいただけませんか？
30
31 主人公「同棲ってこと？」
32
33 はい、いわゆる同棲……です
34 どうでしょうか？
35
36 主人公「嬉しい、そうしよう！」

1
2 いいんですか？ ありがとうございます！
3 ふふ、約束ですよ
4 絶対絶対、忘れないでくださいね？
5
6 【中央・近】
7 わたし、お兄ちゃんの恋人になれて、本当に幸せです
8 お兄ちゃんのこと、わたしが一生かけて幸せにします
9
10 お兄ちゃん……大好き
11 ずっとずっと、ハギのことを愛してくださいね
12
13
14 F I N